

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.73

2011.10.4

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019-684-2225

FAX019-684-2227

福島の犠牲償うには **核との決別**しかない ～アーサー・ビナードさん講演



いわて女性・九条の会では、9月19日に6周年記念講演会を水産会館で開催し、約150人が参加しました。在留米国人の詩人アーサー・ビナードさんをお呼びして、「ヒロシマからフクシマへの道」と題して講演いただきました。

ビナードさんは今回の原発事故について「原子力の平和利用という“世紀のペテン”を見抜けなかった延長線上にある」と指摘しました。また、アメリカが国民に秘密で核兵器開発のための「マンハッタン計画」を遂行し、その実験のために爆弾の種類を変えて広島・長崎の原爆投下を行い、それを隠すために原爆投下によって日本は戦争を終結することができたとアメリカ国民に宣伝し教育しているため、原爆投下の正当性を信じているアメリカ人が多いが、その後1945年7月に天皇の「戦争を終わりにする親書」がアメリカに渡されていることが判明し、原爆投下による戦争終結は事実と違うことが判明したことや、基本的人権を奪われた福島の人々の姿に、原子力は憲法の機能も奪うと強調されました。

最後に、「嫌なことを嫌と拒否するところから新しい社会が生まれる。フクシマの犠牲を償うには核と手を切るしかない。」と結びました。
(いわて女性・九条の会 事務局)

北上「九条の会」結成6周年・憲法学習会

8月21日、午前10時から北上「九条の会」結成6周年・憲法学習講演会が開催されました。「九条護憲から見た大震災時の自衛隊の活動と北アフリカ・中東の春」と題して、川島茂裕さん(北上「九条の会」世話人代表、中国河南省山門峡職業技術学院専任教師)が講演しました。講演会には41名参加しました。

講演で川島さんは、2011年前半期頃までの世界と日本をめぐる動きについて、九条護憲を視点に据えて分析しました。①北アフリカ・中東のイスラム諸国の民主化と日本の石油資源問題との関係、②自衛隊が北アフリカ・ジブチに史上はじめて海外恒久基地を開設した狙いは何か、③東日本大震災復興支援活動における自衛隊と米軍の共同行動をどう見るか、原発・石油資源問題との関係、④沖縄普天間基地移設の問題では、説得すべきは米政府なのに沖縄県民に矛先を向ける民主党内閣、米軍「トモダチ作戦」との関係は、等のテーマで分析、その関連を把握し、9条護憲運動を強化・発展させる道筋を探る、と言うものでした。



事前に、会場周辺地域にチラシを配布しました。その結果、数人の市民が9条の会学習会に初参加しました。講演に先立って、北上「九条の会」呼びかけ人会議が同所で午前9時から開催され、①呼びかけ人名(現在52名)を国会請願署名協力要請文に掲載する件、②総会の持ち方、③北上「九条の会」活動計画に沿って「運動を前にすすめる」方針を確認して閉会しました。
(北上「九条の会」事務局)

さよなら原発集会



次世代につなげる脱原発の取り組みを

平和環境岩手県センターは、9月16日（金）18：00より、岩手教育会館にて「岩手発：さようなら原発9.16集会」を開催しました。

集会の講演では「さようなら原発1000万人総アクション」の呼びかけ人の一人、作家落合恵子さんより「孤独の力を抱きしめて、ひとりから始まる」という題で、講演をしていただきました。落合さんが一番初めに聞いたのは、参加者の年齢でした。次の世代へとつなげながら脱原発にむけた取り組みを広げていきたいとの思いからでした。講演の中では、「脱原発・反原発を今まで取り組んでいなくてもいいし、何だかよく分からないけど原発という危険なものを残したくないという軽い気持ちでもいいから、みんなとつながりながら運動をしていきたいという意味で“やわらかなつながり”をつくっていききたい。」と話していました。また、集会やデモに参加することだけがいいことではなく、それぞれの身の丈にあった形で脱原発の取り組みをしてくれたらそれでいいと付け加え講演は終了しました。



その後、原発と決別する集会アピールを確認し、大通りにてデモ行進と署名活動を展開しました。参加者数は約600人となりました。これからも落合さんの提言した“やわらかなつながり”を広め、脱原発に向けたうねりをつくっていききたいです。

報告 佐藤 浩

コラム = 「9の日」街宣署名行動 片山さんをご存知!?

平和憲法・9条をまもる岩手の会は9月9日（金）、盛岡市内で第53回目の街頭署名宣伝行動を行いました。2005年9月から冬・雨天の日を除き毎月行い、それが53回目、合計287,266筆になりました。感慨深いものがあります。

ところで、この行動に「花巻9条の会」から片方瑞夫さんがほとんど毎回のように参加してくださっています。片方さんは「戦争を推進した人達は何ら責任も取らず、国会議員になったりする者までいた。これは許されない!」「何とか早く県民の過半数署名を得たい!」とその思いを熱く語ってくれました。今回も切々と署名を訴えておりました。(写真)



野田政権になっても相変わらず、民主、自公、自民系党派における改憲論議はマスメディアでは小さくしか報道されませんが盛んです。これは政権を改憲に向かって動かそうとする意図です。

日本国憲法に基づく平和国家日本の確立を願う者は、片方瑞夫さんの思いに感動し、決意を新たにすることと思います。県内各地の9条の会にも「片方瑞夫さん」が沢山いると思います。そのみなさんと一緒に「県民の過半数署名60万筆」の達成を目指して進んでいきたいと思っています。(事務局)

今月の署名行動

今日は、7日（金）12：00から野村証券前で街頭署名活動を行います。